

総合評価落札方式 施工体制確認型（簡易型）の試行状況について

神通川水系砂防事務所 天坂 豊治

1. 総合評価落札方式試行の経緯

- 公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成 17 年 4 月 1 日施行）
- 入札談合の再発防止対策について（平成 17 年 7 月 29 日公表）
- 公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針（平成 17 年 8 月 26 日閣議決定）
- 北陸地方整備局発注工事に総合評価落札方式を全面適用（平成 17 年 9 月）
- 一般競争入札方式の拡大について（平成 17 年 10 月 7 日通知）
- 北陸地方整備局発注工事に一般競争入札を全面適用（平成 18 年 4 月）
- 緊急公共工事品質確保対策について（平成 18 年 12 月 8 日公表）
- 原則として全ての工事を総合評価落札方式の施工体制確認型とする
（平成 19 年 4 月 5 日付け技術開発調整官連絡）

2. 平成 19 年度神通川水系砂防事務所の取り組み状況

(1) 総合評価落札方式 工事発注件数

	標準型	簡易型	計
施工体制確認型	1	11	12
非施工体制確認型	0	2	2
計	1	13	14

注) 発注件数は 12 月末現在であり補正予算に係るものは含んでいない。

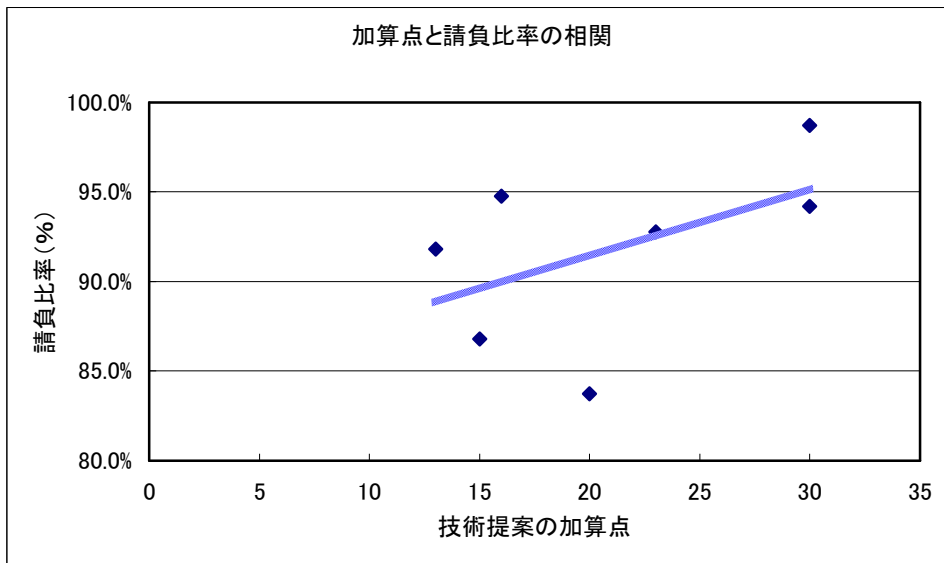
(2) 総合評価落札方式（簡易型）評価点数の推移

	H17/9~	H17/10~	H18/4~	H19/4~	計
加算点の満点	17	13.5	20	80	—
工事発注件数	3	5	13	12	33

(3) 総合評価落札方式（簡易型）評価点数の比較

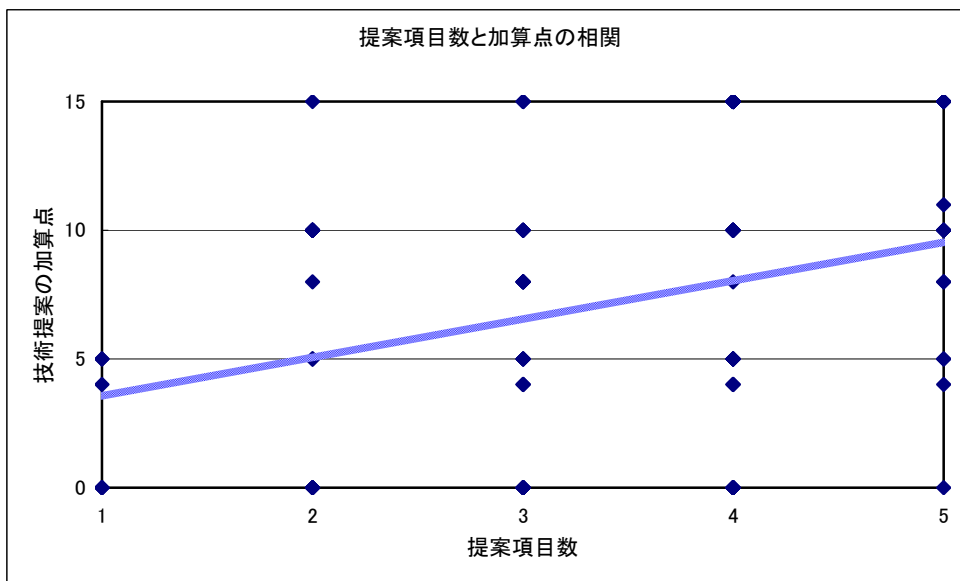
	H19/4~	~H19/3
施工体制の評価	30	—
技術提案の評価 （簡易な施工計画）	30	10
確実性の評価	16	10
新技術に対する取り 組みの評価	4	—
計	80	20

(4) 技術提案の評価（簡易な施工計画）と請負比率の実態



注) データは平成 19 年度発注（12 月末現在）の一般土木である。

(5) 技術提案（簡易な施工計画）の提案項目数と評価結果の実態



注) データは平成 19 年度発注（12 月末現在）の一般土木である。

3. 今後の取り組み

- 総合評価落札方式の第三者機関（富山ブロック総合評価審査委員会）による審査・評価を踏まえた改善
 - 低価格入札（ダンピング）対策として、特別重点調査の実施
 - 低価格入札（ダンピング）対策として、施工体制確認型総合評価落札方式の試行継続
- 以上